

市教研 小・中連携研修会

(生徒指導部会)

実践事項「時間を意識して行動する。」

「子どもたちが集団にとけこめるような実践をすすめる。」

[各校からの報告]

花野小 : 時間通り教師が始める。

(東別府先生) 集団へ入れない児童への対応は、学校だけの問題ではない。保護者への呼びかけ。

西伊敷小 : 時計を見て行動するように指導、一分間行動を取り組むようにしていきたい。

(桑畑先生) たてわりの活動、全校で遊ぶ日、グループ活動と多く取り入れた。

川上小 : 生活指導重点目標に設定した。教師自身が時間・時刻を守る。

(坂ノ上先生)子どもたちの関わりを多く設定する。

緑丘中 : 4月に集団宿泊学習をしている。子どもたちの実行委員会が、体育祭を運営している。

(柚木先生) 上手に失敗させるために協力していく。

[意見交換]

西伊敷小 : コミュニケーション能力の一つである。「ありがとう」「ごめんね」が素直に言えない。

家庭でも言えていないのではないか。

小学校低学年で身に付けておくべきことである。家庭との大切である。

緑丘中 : 新入時の様子。

部活の中の不安は、先輩との関係。同級生との関係作りを指導している。上級生へも指導

している。子どもたちが、小学校時、考えている不安はないと思う。

[共通実践事項]

中身をいろいろ工夫しながら取り組む。

[その他の質問]

学力低下、規範意識の低下が学校の責任になっているような気がする。取り組んでいることをもっとアピールするべきである。規範意識の低下による問題を一つ一つ解決していく。

特別支援教育に関する事で、情報交換をしていきたい。

[指導助言(西伊敷小 : 原田校長先生)]

年1回の部会であるので、共通実践事項について各学校で考え、情報交換ができています。

各学校の実態を踏まえて実践している。

アンケートを通して、それぞれの願いがでています。

教師自身が手本を子どもに示す姿勢が大切。

学校が学校便りなどを通して、保護者・地域の方へ知らせていく。具体的にアピールしていく。

計画的、継続的な指導をしていき、見届けまでしっかりできるようなものにしていきたい。